

すべての人は長所と短所をもっている
失敗を繰り返しながら学び
困難・苦悩と戦いながら成長する

『人の一生は、重荷を背負い、坂道を登るようなもの』と徳川家康が言ったと語られています。

この言葉は、希望の持てるものではないですが、心得としては大切なことと思っています。毎日を振り返って見ると、楽しいことだけではないし、苦しいことだけでもありません。成功もあるし失敗もあります。

他の人よりも良いところや優れているところ、反対に、他の人よりも劣っているところや悪いところが、どんな人にもあります。それが長所であり短所です。

短所は、他の人と比較すればすぐに分かります。しかし、長所はなかなか分かりません。自己理解が大切とよく言われますが、それもどうすれば良いのかよく分かりません。

多くの人は、失敗したことを教訓とします。しかし、人には、失敗を教訓とできない弱さもあります。

大切なことは、百パーセントの人間はいないこと、物事を進めていく過程では失敗があること、一人では何もできないこと、自分を信じ周りの人を信じること、一生懸命であること、失敗の中に学べることが多いことを知ることだと思っています。

私はスポーツ人間で、スポーツを通して多くのことを学んできました。これまで全然勝てなかった人に突然勝てるようになったり、負けたことのなかった人に、急に勝てなくなってしまうこともありました。スランプになって、大きな精神的な苦痛を感じたときもありました。スランプを乗り越えるのは、結局練習の繰り返ししかありませんでした。

スランプを乗り越えると、それまでとは違った新しい自分を発見することが出来ました。一回り成長して、余裕と自信を持った自分がいました。

出来ない、駄目だと思った時から自分の進歩と成長がストップしてしまいます。あきらめてしまうことは、自分の可能性を否定し捨ててしまうことです。（時と場合によっては、あきらめることも必要か？）

やってみて、駄目であったならばあきらめれば良い。やってみないで悩むよりは得るものも多い。

結果ではかなわなかったけれど、努力の量では負けていないと自信を持てる自分をつくりたいと思っています。

